

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 共生型デイサービス係（共生型放課後等デイサービス）

公表日 令和8年2月27日

利用児童数 令和8年2月27日 12名

回収数 12名 ※一人無回答

	チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7人	2人	1人	1人	家庭的で落ち着いた雰囲気が評価されている一方、活動内容や人数によっては手狭に感じる意見も一部見られた。	家庭的な雰囲気を大切にしながら、活動内容や人数に応じた環境調整を行い、安心して過ごせる空間づくりを継続する。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8人	1人	1人	1人	職員数が多く、安心して子どもを預けられる体制である点が高く評価されている。一方で、時間帯や活動内容によってはただだしきあふれ、急ぎで退室を希望する声も一部見られた。	引き続き十分な職員配置を維持しながら、時間帯や活動内容に応じた役割分担を行い、落ち着いた支援環境づくりに努める。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6人	2人	2人	1人	建物の特徴を踏まえ、職員による工夫も評価されている一方、古民家であることから設備面やバリアフリー面に課題を感じる意見も見られた。	建物の特徴を踏まえ、職員の関わりや環境設定の工夫により、子どもにとって分かりやすく安心できる環境づくりを継続していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間になっていると思いますか。	7人	2人	1人	1人	清潔で家庭的な環境が評価されている一方で、車いす利用時に屋外からそのまま室内に入ることによる衛生面を心配する声も一部見られた。	清潔な環境を維持するため、車いす利用時の動線や床面の清掃に配慮するとともに、必要に応じてマットの設置やほこり取りを行い、安心して過ごせる環境づくりに努めていく。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8人	1人	1人	1人	子どもの特性を理解した丁寧な関わりや専門性のある支援が評価されている一方、支援内容が分かりにくいと感じる声も一部見られた。	引き続き子ども一人ひとりの特性を踏まえた支援を行うとともに、支援の趣意や関わり方について保護者に分かりやすく伝えていく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4人	3人	1人	3人	支援内容自体への不満は少ないものの、支援プログラムについては十分に理解できておらず、実際の支援とのつながりが分かりにくいと感じる保護者が多かった。	支援プログラムの内容と日々の支援との関係が伝わるよう、分かりやすい説明や情報提供の工夫を行っている。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6人	2人	1人	2人	子どもの特性を踏まえた計画が評価されている一方で、個別支援計画の内容や支援とのつながりが分かりにくいと感じる保護者も見られた。	引き続き一人ひとりの特性やニーズを踏まえた計画を作成を行うとともに、計画内容について分かりやすい説明を心がけていく。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4人	3人	1人	3人	支援内容そのものへの不安は少ないものの、ガイドラインに基づく支援項目の設定や具体的な支援内容については、理解が十分に行き届いていない保護者が多く見られた。	ガイドラインに基づく支援の考え方や、日々の支援と結び付けながら、分かりやすい説明や情報提供を行っている。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6人	2人	1人	2人	日々の支援内容については評価されている一方、放課後等デイサービス計画とのつながりが分かりにくいと感じる保護者も見られた。	引き続き計画に基づいた支援を行うとともに、計画と日々の支援の関係が伝わるよう、分かりやすい説明に努めていく。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8人	1人	1人	1人	季節の行事や誕生日などを通じて、活動が固定化されないよう工夫されている点が評価されている。一方で、活動内容が十分に伝わっていないと感じる保護者も一部見られた。	引き続き季節感や行事を大切に活動を行うとともに、活動内容がより伝わるよう情報共有を工夫していく。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2人	1人	1人	7人	地域や他の子どもとの交流については、実施状況が見えにくく、「分からない」と感じる保護者が多く見られた。	交流の有無や活動内容について、実施した際には分かりやすく共有し、保護者が状況を把握しやすいよう努めていく。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6人	2人	1人	2人	利用開始時の説明については概ね評価されている一方、時間の経過とともに内容が分かりにくくなっている保護者も見られた。	利用開始時の丁寧な説明を継続するとともに、必要に応じて内容を再確認できる機会を設け、分かりやすい情報提供に努めていく。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5人	3人	1人	2人	支援内容の説明が行われているものの、放課後等デイサービス計画を示しながらの説明については、十分に印象に残っていない保護者も見られた。	個別支援計画を用いながら、支援内容が分かりやすく伝わる説明を心がけ、保護者の理解につながるよう努めていく。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2人	1人	1人	7人	家族支援に関する取り組みについては、実施状況が十分に伝わっておらず、「分からない」と感じる保護者が多く見られた。	家族支援に関する取り組みや情報提供について、内容や実施状況が分かるよう、案内や説明の工夫を行っている。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	8人	1人	1人	1人	日常的な情報共有により、子どもの健康や発達について共通理解ができていると感じている保護者が多く見られた。一方で、より詳しい情報を求める声も一部見られた。	引き続き日々の情報共有を大切にしながら、必要に応じて丁寧な説明や相談の機会を設けていく。
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6人	2人	1人	2人	面談や子育てに関する助言については一定の評価が得られている一方、実施の頻度や形が分かりにくいと感じる保護者も見られた。	必要に応じた面談や助言を継続するとともに、面談の機会や内容が分かりやすくなるよう工夫していく。	
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8人	1人	1人	1人	職員の共感的な関わりについて高く評価されている一方、対応のばらつきを感じる声も一部見られた。	引き続き共感的な関わりを大切にしながら、職員間での関わり方の共有を行い、安定した支援につなげていく。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだいのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	3人	2人	1人	5人	マルシェや見学などを通じて交流の機会が設けられているものの、実施頻度が限られていることもあり、内容や取り組みが十分に伝わっていない保護者が多く見られた。	年1回の行事等を大切にしながら、交流の機会について分かりやすく周知し、家族やきょうだいが関われる場づくりを検討していく。	
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7人	2人	1人	1人	相談や申し入れへの対応については評価されている一方、体制や相談方法について十分に周知されていないと感じる保護者も見られた。	引き続き迅速で丁寧な対応を行うとともに、相談や申し入れの方法について分かりやすく周知していく。	
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7人	2人	1人	1人	日常的なやり取りや情報共有については概ね評価されている一方、情報量や伝わり方にばらつきを感じる保護者も一部見られた。	引き続き分かりやすい情報伝達を心がけるとともに、状況に応じて丁寧な説明や共有の工夫を行っている。	
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7人	2人	1人	1人	3月に1回発行している広報誌については好評で、活動内容や雰囲気などが分かりやすいとの声が多く見られた。一方で、他の情報発信については十分に把握できていない保護者も一部見られた。	好評な広報誌の発行を継続するとともに、必要に応じて他の発信方法についても分かりやすく案内していく。	
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8人	1人	1人	1人	個人情報の取扱いについては安心して保護者が見られた。一方で、具体的な対応が分かりにくいと感じる声も一部見られた。	引き続き個人情報の適切な管理を徹底するとともに、必要に応じて取扱いについて分かりやすく説明していく。	
23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6人	2人	1人	2人	安全管理に関する体制については安心感を持っている保護者が多い一方、マニュアルの内容や訓練の実施状況が十分に伝わっていないと感じる声も一部見られた。	各種マニュアルに基づく対応訓練を継続するとともに、実施状況について分かりやすく周知し、保護者の安心につなげていく。	
24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5人	2人	1人	3人	非常災害への備えについて一定の安心感はあるものの、避難訓練の実施状況や内容が保護者に十分に伝わっていない様子が見られた。	定期的な避難訓練を継続するとともに、実施状況や内容について分かりやすく共有し、保護者の安心につなげていく。	
25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7人	2人	1人	1人	日常の支援を通じて安全への配慮は評価されている一方、安全確保の計画については十分に認識されていない保護者も見られた。	引き続き安全に配慮した支援を行うとともに、安全確保に関する計画や取り組みについて分かりやすく周知していく。	
26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6人	2人	1人	2人	事故発生時の連絡や説明については評価されている一方、実際に経験していないため判断が難しいと感じる保護者も見られた。	事故等が発生した際には速やかな連絡と丁寧な説明を継続するとともに、対応の流れについて分かりやすく伝えていく。	
27 こどもは安心感をもって通所していますか。	10人	1人	0人	1人	多くの保護者が、子どもが安心感をもって通所できていると感じており、事業所が子どもにとって安心できる場所となっていることなどがうかがえる。	引き続き子どもが安心して過ごせる家庭的な環境づくりを大切にしながら、安定した通所につなげていく。	
28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	9人	1人	0人	1人	多くの保護者が、子どもが通所を楽しみにしていると感じており、安心して楽しく過ごせる環境が整っていることがうかがえる。	引き続き子どもが楽しみながら通所できるような、家庭的で安心感のある関わりや活動を大切にいく。	
29 事業所の支援に満足していますか。	6人	3人	1人	1人	多くの保護者が支援内容に満足している一方で、説明や支援の見え方について改善を求める声も一部見られた。	現在の支援の質を大切にしながら、保護者への説明や情報共有を工夫し、さらなる満足度向上につなげていく。	